

高い生産技術力で発電用
タービンブレード加工で
国内シェアトップ

株式会社 ティービー エム

長野県
上伊那郡宮田村6750

1979年(昭和54年)設立
0265-85-3333

<http://www.tbm-corp.co.jp>



代表取締役社長
山田 益

原子力発電、火力発電などの発電用タービンブレード生産分野において、高い生産技術力により国内トップシェアを維持し、日本、世界の電気エネルギーインフラを下支え。さらに、航空機エンジン用部品などへも事業拡大中。

タービンブレード生産の専門企業

同社は、原子力発電や火力発電用の蒸気タービン、ガスタービンおよび船舶用過給機などに使われるタービンブレード生産の専門企業。発電機用タービンブレードは材質が難削材であり、形状も複雑な3次元の曲面加工が要求され、更にサイズの大きいため、蓄積された高い技術力と優れた生産設備が必要である。高信頼性と高精度・高効率生産技術が認められ、国内の大手発電機メーカーでの使用量の約半分を供給し、国内でのシェアは40%以上を維持し、日本および世界の電気エネルギーインフラを下支えしている。

また航空機のジェットエンジン用ブレード、ライナーや大型鋳鋼バルブ部品などの生産も行ない、機械部品加工のトップかつ最良のメーカーを目標に事業を行なっている。

業界をリードする加工技術の卓越性

タービンブレードは独自商品ではなく顧客の設計した製品であり、いかに高信頼性、高精度、高能率に加工するかが企業の使命であり、加工技術の卓越性が必要である。このために、下記の3項目で主に優位性を維持している。

①加工機械のオリジナリティ

NC複合マシニングセンターや工具などは独自設計の内容をメーカーと共同開発してきた。

②NCソフトの自前開発

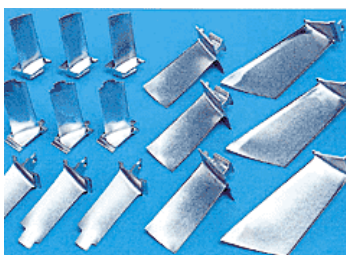
ソフトウェアは全てのソフトウェアを自前で設計。また各加工機械へのNCソフトはいち早くから生産技術部門から直接ダウンロードを行い優位性を維持してきている。

③治工具設計・製作などをすべて内作

独自のノウハウの維持、向上のため、治工具類はすべて内作で対応。



タービンブレード



航空機器部品



バルブ部品